

第28期 計算書類

〔 2025年 4月 1日から
2026年 3月31日まで 〕

貸 借 対 照 表
損 益 計 算 書
株主資本等変動計算書
個 別 注 記 表

NTTタウンページ株式会社

貸借対照表

(2026年 3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	4,678	流 動 負 債	6,549
現 金 及 び 預 金	9	買 掛 金	587
売 掛 金	2,577	短 期 借 入 金	3,020
未 収 入 金	1,560	リ ー ス 債 務	2
棚 卸 資 産	70	未 払 金	2,367
前 払 金	419	未 払 法 人 税 等	2
そ の 他	123	未 払 消 費 税 等	65
貸 倒 引 当 金	△79	未 払 費 用	356
		契 約 負 債	110
固 定 資 産	9,273	前 受 金	13
有 形 固 定 資 産	213	預 り 金	27
建 物	126	そ の 他	0
工 具 、 器 具 及 び 備 品	84		
リ ー ス 資 産	4	固 定 負 債	5,174
		リ ー ス 債 務	2
無 形 固 定 資 産	1,961	退 職 給 付 引 当 金	5,044
商 標 権	3	資 産 除 去 債 務	127
ソ フ ト ウ ェ ア	1,956	そ の 他	1
そ の 他	3	負 債 合 計	11,723
		(純 資 産 の 部)	
投 資 そ の 他 の 資 産	7,099	株 主 資 本	2,228
関 係 会 社 株 式	4,891	資 本 金	100
長 期 前 払 費 用	1	資 本 剰 余 金	810
繰 延 税 金 資 産	1,572	そ の 他 資 本 剰 余 金	810
長 期 滞 り 債 権	41		
デ ー タ ベ ー ス 利 用 権	545	利 益 剰 余 金	1,319
そ の 他	97	利 益 準 備 金	228
貸 倒 引 当 金	△48	そ の 他 利 益 剰 余 金	1,090
		繰 越 利 益 剰 余 金	1,090
		純 資 産 合 計	2,228
資 産 合 計	13,951	負 債 ・ 純 資 産 合 計	13,951

(注)記載金額は百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

損 益 計 算 書

2025年 4月 1日から
2026年 3月31日まで

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		17,136
売 上 原 価		14,141
売 上 総 利 益		2,995
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,826
営 業 利 益		169
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	
そ の 他 の 営 業 外 収 益	2	2
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	20	
固 定 資 産 除 却 損	5	
そ の 他 の 営 業 外 費 用	0	25
経 常 利 益		147
特 別 損 失		
事 業 再 編 損	625	625
税 引 前 当 期 純 損 失		478
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	△125	
法 人 税 等 調 整 額	0	△125
当 期 純 損 失		353

(注)記載金額は百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

株主資本等変動計算書

2025年 4月 1日から
2026年 3月31日まで

(単位:百万円)

	株主資本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本 合計	
		その他の 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
					繰越利益 剰余金			
当 期 首 残 高	100	810	810	228	1,444	1,672	2,582	2,582
当 期 変 動 額								
当 期 純 損 失	－	－	－	－	△ 353	△ 353	△ 353	△ 353
当 期 変 動 額 合 計	－	－	－	－	△ 353	△ 353	△ 353	△ 353
当 期 末 残 高	100	810	810	228	1,090	1,319	2,228	2,228

(注)記載金額は百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

個別注記表

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。
2. 有価証券の評価基準及び評価方法
関連会社株式 移動平均法による原価法
3. 棚卸資産の評価基準及び評価方法
個別法による原価法によっております。
(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
4. 固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法
 - (1)有形固定資産
定額法によっております。
 - (2)無形固定資産
定額法によっております。
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年以内）に基づく定額法によっております。
5. リース資産の減価償却の方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、実質残存価額を「零」とする定額法によっております。
6. 引当金の計上基準
 - (1)貸倒引当金
債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については債権の回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上することとしております。
 - (2)退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。
数理計算上の差異については、発生時の従業員の平均残存勤務期間に基づく年数による定額法により、翌事業年度より費用処理しています。
過去勤務費用については、発生時の従業員の平均残存勤務期間に基づく年数による定額法により、発生時より費用処理しています。
7. 収益及び費用の計上基準
約束した財又はサービスはその支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しています。
当社の顧客との契約から生じる主な収益は、タウンページ広告、デジタルリード、iタウンページデータベース、iタウンページ広告等となっております。
タウンページ広告は、当該電話帳の配達月に収益を認識しております。
デジタルリード及びiタウンページ広告等は、履行義務が充足される契約期間にわたって月次で収益を認識しております。
iタウンページデータベースは、納品時に収益を認識しております。
8. 追加情報
 - (1)グループ通算制度の適用
グループ通算制度を適用しております。

II. 収益認識に関する注記

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記の「7. 収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

III. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	395百万円
2. 関係会社に対する金銭債権債務	
短期金銭債権	153百万円
短期金銭債務	3,333百万円

IV. 損益計算書に関する注記

1. 関係会社との取引高	
売 上 高	5,051百万円
仕 入 高	1,505百万円
営業取引以外の取引高	419百万円
2. 特別損失（事業再編損）の内訳	
システム違約金	388百万円
組織見直し関連	162百万円
電話帳関連資産の除却損	44百万円
電話帳用紙の売却損	30百万円
事業再編損合計	625百万円

V. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 事業年度末における発行済株式数 普通株式 70,000株
2. 剰余金の配当に関する事項
 - (1) 配当金支払額
該当事項はありません。
 - (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
該当事項はありません。

VI. 税効果会計に関する注記

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の主な発生原因

<繰延税金資産>

退職給付引当金	1,625 百万円
税務上の繰越欠損金	562 百万円
固定資産	36 百万円
未払賞与等	122 百万円
資産除去債務	41 百万円
貸倒引当金	41 百万円
その他	152 百万円
繰延税金資産小計	2,579 百万円
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額	△562 百万円
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△439 百万円
評価性引当額小計	△1,000 百万円
繰延税金資産合計	1,579 百万円

<繰延税金負債>

有形固定資産（資産除去債務）	△7 百万円
繰延税金負債合計	△7 百万円
繰延税金資産純額	1,572 百万円

VII. 金融商品に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は資金運用については安全性に配慮し有利な運用に努めることとしております。運用にあたっては、原則、元本保証・確定利回りの金融商品で行うとともに、取引先金融機関等の信用リスク管理を徹底することとしております。

資金調達については安定的かつ最も低コストな資金調達手段の確保に努めるとともに、親会社を通じて、機動的・弾力的な調達を行うこととしております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスクならびに管理体制

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。

当該リスクに関しては、内規に従い、与信限度額の設定と管理、与信調査の実施、与信調査結果に基づく取引の可否・取引条件を決定する体制としております。

営業債務である買掛金、未払金は、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2026年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額について、現金は注記を省略しており、預金、売掛金、未収入金、短期借入金、買掛金、未払金、預り金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。また、長期滞り債権は重要性が乏しいことから、注記を省略しております。なお、市場価格のない株式等は次のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	貸借対照表計上額
関係会社株式	4,891

Ⅷ. 関連当事者との取引に関する注記

1. 親会社及び法人主要株主等

(単位：百万円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	NTT東日本株式会社	被所有 直接100%	電話帳発行業務の受託等 資金貸借取引 役員の兼任	電話帳発行業務受託等	5,046	売掛金	19
				電話帳広告販売等	607	買掛金	182
				固定資産の購入	275	未払金	131
				CMS	2,603	短期借入金	3,020
				支払利息	20	-	-

2. 兄弟会社等

(単位：百万円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社の子会社	NTT西日本株式会社	—	電話帳発行業務の受託等	電話帳発行業務受託等	3,038	売掛金	56
				電話帳広告販売等	948	買掛金	293
				固定資産の購入	412	未払金	1
親会社の子会社	NTTファイナンス株式会社	—	G間取引システムの幹事会社 料金回収代行業務の委託	資金ネットینگ*	2,934	未払金	570
				料金回収	4,510	未収入金	1,028
親会社の子会社	NTTドコモソリューションズ株式会社	—	電話帳発行等システムの運営	電話帳発行等システムの利用	2,736	買掛金	-
				システム違約金	388	未払金	394
親会社の子会社	テルウェル西日本株式会社	—	拠点ビルの維持管理	拠点整備費用	11	未払金	4

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 価格その他の取引条件は、市場実勢等を勘案して交渉の上で決定しております。

(注2) 当社はNTT東日本株式会社が導入しているCMS（キャッシュマネジメントシステム）に参加しており、資金貸借取引はCMSに係るものであります。利率は市場金利を勘案して合理的に決定しており、担保は設定しておりません。なお、資金貸借の取引金額は期中平均残高を記載しております。

Ⅸ. 1株当たり情報に関する注記

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 31,833円59銭 |
| 2. 1株当たり当期純損失金額 | △5,045円49銭 |

Ⅹ. 重要な後発事象に関する注記

該当ありません。